

地域のボランティアスクール

ふれあい

横浜みどりの学校ひまわり

2022年7月号 No.54

こんな学校があってもいいかも（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、10年前に開設されました。

老いと死を見つめて、そして教育

校長 渡辺 正彦

安倍元首相の突然の死が伝えられる中、私は、後期高齢者の仲間入りをしました。自分自身が後期高齢者になるなんて考えられないことですが、これが現実です。お陰で医療費は一割負担になりました。それは、嬉しい反面、私のような社会貢献の少ない年寄りが医療費で現役世代に負担をかけるのは申し訳ない気持ちです。一方で「老いと死」は誰もが必ず向き合わなければならない「人生ストーリー」の必須事項ですから仕方のないことだとも思います。

私の生まれ育った若者の聖地、東京の原宿にも以前は裏町の「人生ストーリー」が存在しておりました。小学生の時に、友達の母親は3人の男の子を遺して天に旅立ちました。近所の母親達は当然のように遺された子ども達に対して自分の子どものように接しておりました。かつての原宿にはそんな人情が残っていたのです。ある時、遺された子どものわんぱくな次男が友達とトラブルを起こして相手方の親が怒鳴り込んで来ました。近所の母親の一人がまるで我が子のトラブルのように毅然と対応していたのが子ども心に明確に残っております。そんな元気で人情味溢れる近所の母親にもやがて老いが訪れ、認知症になった彼女が万引きをした噂を聞きました。あの時の人情味と正義感に溢れた眩しいばかりのあの近所の母親も「人生ストーリー」の台本通りに老いと死を見つめて逝ったことでしょう。

13歳離れた私の兄は、渋谷区立外苑中学校の1期生でした。当時、神宮球場近くにあったグラウンドは戦後の食糧難のため所々芋畑になっていたようです。そんな環境での体育の時間に兄は転倒してしまい、頬に草の茎が貫通して出血しました。慌てて駆け寄った先生は兄を抱き抱えて、出血した頬に自分の口をあてて血を吸い取ってくれたそうです。

信濃町の慶応病院での兄の最期に立ち会った私は、意識の混濁する兄を前に元気な時に兄から聞かされた感動的な逸話を思い出しておりました。兄もきっと芋畑グラウンドのあの出来事と先生の行動を胸に旅立ったことでしょう。

人間は誰でもが老いて、やがて死を迎えます。そんな「人生ストーリー」の中にあって教育は一体何を成すべきなのでしょう。

私の答えはただ一つ、「生きているあいだに人の役に立つこと」です。この私の教育理念は普遍であり、どの様な環境の子ども達にも適合されるべきだと思います。不登校に悩む子ども達にも、個性的な子ども達にも、そして家庭環境に恵まれない子ども達にも。

街の小さな学校「横浜みどりの学校ひまわり」では、世渡りのテクニックよりも「生きる目的」をしっかりと教えたいと思います。

ひまわりの日常活動から

◇ひまわり児童・生徒会発足と総会

予てより計画されていた「ひまわり児童・生徒会」が7月13日の児童・生徒総会により正式に発足しました。同時に会長以下4名の役員も決定しました。この活動により、子ども達の自主性や社会性が構築されることが期待されます。

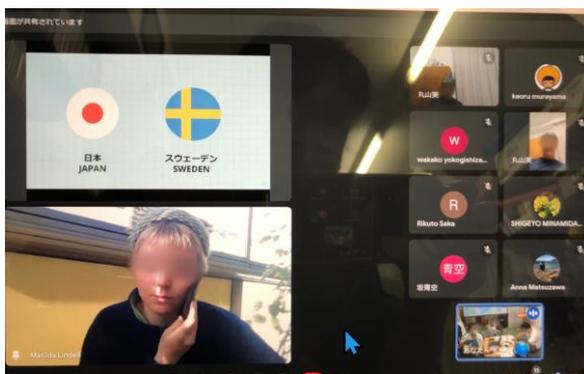
◇ひまわりハンドメイド大作品展開催

7月16日より7月30日までの予定で子ども達とボランティアの出品による「ひまわりハンドメイド大作品展」が軽井沢校舎で開催されました。日頃の子どもの作品を中心に25点以上の作品が展示されました。今後は展示品の追加を試みて「ひまわり美術館」として常時展示の予定です。皆様の鑑賞をお待ち申し上げます。



◇アンナ先生の地球儀教室（国際理解活動）

7月から8月にかけてオランダ留学中の高校生ボランティアのアンナ先生の一時帰国を利用しての国際理解教室「地球儀教室」が開講されます。オンラインで留学先で知り合ったブラジル、スウェーデン、中国、スーダン、カナダの高校生たちが登場して異文化交流を行います。皆様のオンライン参加も可能です。



◇ひまわりふれあいレストラン(ひまわり版子ども食堂)

6月のひまわりふれあいレストランは、とん汁とおはぎ、ひまわり野菜サラダでした。

7月のメニューは、おにぎり、そうめん、フルーツポンチ、ひまわりサラダです。

レストランボランティアの皆さんの愛情あふれる調理です。



◇アロマ・鍼灸・ヨガ部会から

6月29日(水)には、多様な分野からの子ども達の支援を目的に設立された保護者とボランティアにてつくる専門部会の内のアロマ・鍼灸・ヨガ部会主催のラベンダースティック作りが開催されました。子どもと保護者、ボランティアを混ぜての会では、心の癒し効果のあるラベンダーを材料にしての製作が実施されました。



◇校内人事

非常勤ボランティアとして保育園勤務のY先生(女性)が新に加わりました。先生は特技のハンドクラフトの指導を中心に子どもを支援して下さいます。長年の保育園勤務で培った素晴らしい子ども対応が期待されます。

◇校長校内講演会とボランティア研修会が開催されました。

6月25日(土)に校長先生による講演会とボランティアの基礎研修会がしらとり台自治会館で開催されました。満員の会場では、本校の設立理念の視点、発達障がいの特性など専門的な分野に踏み込んだ研修が実施されました。



◇ある日の校長タイム

校長タイムは、色々な角度からの話題の提供から子ども達のソーシャルスキル向上やコミュニケーション能力の育成を目指す常時活動です。この日の活動は詩と散文の違いから始まり、詩の凝縮された部分や行間の読み取りが行われました。楽しみながらも子ども達にとって苦手な想像力や類推力の構築を目指しました。



◇ある日の学習室の光景から

ひまわりでは、希望者には専任の講師を配置して個別の学習指導をしております。この日の学習室の子ども達は、個別指導より自習希望の子ども達でした。中学生の彼女達は自宅から持参したドリルに熱心に取り組んでいました。彼女達の質問にも応じられるように指導者は別室で待機します。

ボランティアの先生をご紹介します Vol.12 渡辺真由美先生

渡辺先生は3人のお嬢さんの母親です。穏やかな物腰の先生は、「メンタル心理カウンセラー」と「不登校訪問支援カウンセラー」の2つの資格を有しており、主に心理面からひまわり子ども達の支援にあたってくださっております。ひまわり勤務は原則週1回ですが、子ども達の一大事の時にはいつでも駆けつけてくださる貴重な存在です。先生が最近、力を入れているのは子どもの教育に悩む保護者への支援です。専門知識を介して、先輩ママとしての経験からの親身のカウンセリングが好評です。

趣味は園芸、ハンドメイドレジンです。宮城県出身。

ひまわりの様子



◇夏祭り開催

子ども達にとってお楽しみの「ひまわり夏祭り」が7月29日、30日に開催されました。本年はコロナ禍のため飲食の出店はありませんでしたが、模擬金魚すくい、ヨーヨーすくいなどボランティアさん達の趣向を凝らした出店に参加した子ども達から暑さを吹き飛ばす笑顔が弾けました。

◇ひまわり農場だより

今月のひまわり農場は、キュウリ、ナスなどの夏野菜を中心に豊作が続いております。モロヘイヤ、ツルムラサキなどの葉物野菜の成育も順調です。珍しい青パイヤが日に日に成長しております。子ども達と育てたオーガニック野菜は一般にも販売されます。



耕うん機に
チャレンジ



農場で
水鉄砲合戦!

◇鈴虫クツワムシが孵化しました。

飼育活動の一環として育てていた鈴虫、クツワムシが孵化しました。命の教育の実践と同時に活動資金確保のために一般販売も予定されております。



子ども達は
頼もしい
飼育係です!

ボランティア募集

【内容】子どもの見守り、学校事務など
【条件】・週1回以上勤務可能な方

以上のような方を特に求めています。

★ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、渡辺（090-9201-3992）までお気軽にお問い合わせください。最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/> と Facebook にてアップデートしています。